



くらもとたかふみ
蔵本隆文議員

北部下水道計画は、今後どうなるのか

議員 基本構想を見直した結果、下水道工事を中止とした区域がある。下水が使用できると期待していた住民を裏切ったことに対してどのような見解なのか。また、国からの見直しの指示に対し、浄化槽に対して補助等の交換条件を付けることは考えなかったのか。さらに、今後さらなる見直しがあると聞いているが、どうなのか。

市長 下水道整備を15年から20年お待ちいただくより早期に生活環境の改善が見込める合併浄化槽の設置を行う事でご理解いただきたい。また、補助金の拡充に向けて、国、県への要望を続けていきたい。計画の変更の際は、早い時期に関係住民の皆様にしつかりと周知し、理解をいただけるよう努める。



まちづくり協議会と行政運営の連携は

議員 まちづくり協議会と行政の施策推進のために、どのように連携していこうと考えているのか。また、今後のまちづくり交付金の認定基準はどう考えているのか。

市長 現在、地域住民と行政がお互いの役割を明らかにし、それぞれが補いながら公共を担っていく関係をつくっていこうとしているところである。今後、地域づくりの推進を考えたときに、業務の委託などを積極的に考えていく方法もある。また、地域まちづくり計画の策定を進めており、交付金の対象となる活動の採択においては、住民の意思を尊重し、地域まちづくり計画に基づく活動を積極的に支援し、効果的、効率的な協働を推進していきたいと考えている。



うまこしゅうせい
馬越裕正議員

利用者数だけじゃない！笠岡の文化向上へより一層の施設充実を

議員 笠岡市の主な文化施設の現状と課題をたずねる。

教育長 図書館については、4月から開館日、開館時間を大幅に増やしている。年間受け入れ冊数が県内でも低いレベルであることから、利用者の予約、リクエストに対応できる図書の充実に努めてまわりたい。竹喬美術館については、収蔵品が増加しており、他の公共施設も含め、早期の収蔵施設の拡充を目指す。カブトガニ博物館については、クラウドファンディング等で、カブトガニの保護や、シアターコンサートなどのイベントの充実を図る。郷土館については、教育委員会の各課が連携し企画運営を考えて、他の文化施設とのタイアップ等、子供たちを驚かせるような取り組みを考えていく。

イベントの整理・縮小・廃止に向けて今こそ市長判断を！

議員 笠岡市主催の主なイベントの現状と今後の課題をたずねる。

教育長 教育委員会で所管、あるいは実行委員会形式で事務局として実施しているイベントは、文化事業、生涯学習事業、スポーツのイベント等、さまざまあるが、参加者数の減少や固定化がみられる事業の見直しが課題である。

議員 イベントの見直しと整理、縮小、廃止等を検討する時期であると考えるが。

市長 全くその通りだと思う。イベント等のなかで、市民の賛同を得られない、あるいは参加者が少ないということであれば、やめていく方向で考えていく。

